



犬の登録と狂犬病予防注射

- 1 犬の新規登録手数料…3,000円
- 2 狂犬病予防注射手数料…3,150円
- 3 狂犬病予防注射済票……550円

犬の新規登録と狂犬病予防注射を行います。日程内であればどの場所でも受けられますので、都合の良い場所や日時を選んで、愛犬と一緒にお願いします。

期日	場所	時間
4月14日(火)	旧中農協倉庫	午前10時～11時30分
	五辻共同利用施設	午後1時～1時30分
	旧飯館農協倉庫	午後1時45分～2時15分
4月15日(水)	牛尾共同利用施設	午前10時～10時30分
	船越共同利用施設	午前10時45分～11時15分
	旧常盤農協倉庫	午後1時～2時
	南玉造農村共同館	午後2時15分～2時45分

期日	場所	時間
4月16日(木)	旧久賀小学校跡地	午前10時～10時30分
	西古内グラウンド駐車場	午前10時45分～11時15分
	旧十倉三小学校跡地	午後1時～1時45分
4月17日(金)	旧北保育所前	午後2時～2時30分
4月17日(金)	役場附属棟	午前9時30分～11時30分
4月19日(日)	〃	午前9時30分～11時30分

お問合せ●生活環境課環境係 ☎ 76-5406

税務課からのお知らせ

- 令和8年度『土地・家屋価格等縦覧帳簿』の縦覧
 - 期間●4月1日(水)～6月1日(月)【土・日曜日・祝日を除く】
 - 縦覧できる方●①固定資産税の納税者またはその代理人 ②納税者と同居している親族
- 令和8年度『固定資産課税台帳』の閲覧
 - 期間●4月1日(水)～通年【土・日曜日・祝日と年末年始を除く】
 - 閲覧できる方●①固定資産の所有者またはその代理人 ②所有者と同居している親族 ③納税管理人

〈共通〉 場所●税務課窓口
必要なもの●マイナンバーカードなど、本人確認ができるもの

※代理人の場合は委任状が必要です。
お問合せ●税務課資産税係 ☎ 76-5402



■令和8年度軽自動車税の減免申請
身体や精神に一定の障害があり、歩行が困難な方(以下、障害者)のために使用される軽自動車は、申請により軽自動車税の減免を受けることができます。減免は1人につき1台のみで、普通自動車での減免を受けている方は対象外です。

- 申請期限●4月23日(木)
対象車両●次のいずれかに該当する軽自動車
- ①障害者本人が所有し、自ら運転する軽自動車
 - ②障害者本人が所有し、障害者を常時介護する方が運転する軽自動車
(所有する障害者本人の世帯全員が障害者である場合に限り)
 - ③障害者と生計を共にする方が所有し、障害者本人が運転する軽自動車
 - ④障害者と生計を共にする方が所有し、障害者のために運転する軽自動車
- 必要なもの●運転免許証、車検証、障害のあることが証明できる手帳(身体障害者手帳・戦傷病者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳)、納税義務者のマイナンバーが確認できるもの(マイナンバーカード・マイナンバー通知カードなど)
※納税通知書は、届いてから申請する場合のみ必要です。

お問合せ●税務課課税係 ☎ 76-5402

探訪

「二村同様ニ親シミ」



うめすけの多古町

3月に神幸祭が行われた東松崎は多古町の東端で、町境に沿って南玉造、川を越え旧久賀小の学区だった谷三倉、本三倉と続きます。そのまま進んでいくと昨年オープンした東京カステラパーク周辺、十余三に出てしまいますから街道に戻り、次浦方面へ向かいます。

久賀を冠した学校や郵便局は次浦に設けられました。現在の久賀小は旧久賀小学区じゃないのですが、それでも校名に選ばれたのは、村の名前が帰属意識の象徴だった証しだと思います。

その由来は、九つの村が合併したので、9ヶ村→九箇村→久賀村となったようです。余談ながら、前回紹介した坂常家を佐賀常家とした記録もあり、好字(賀)令の影響が感じられます。さらに付け加えれば、常家の弟は次浦に住んで次浦常盛を名乗りました。当時の栗山川流域は重要な土地だったらしく、幻の県都も荒唐無稽と笑い飛ばせません。江戸時代まで

多古町は千葉町より人口が多かったで、そうです。閑話休題。実は、一緒になった村を数えると11あります。当惑しつつ史料をあたって、十一ヶ村の住民が九ヶ村と称し?という不思議な記述を見つけました。『拾遺ヶ村之儀者、田畑山野等悉皆入交り、往古ヨリ総名ヲ九ヶ村ト称シ一村同様ニ親シミ居候』。

右記は、区割編成時に分断されたため変更を願った書状の一部です。合併する前から結束が強く、その頃に世帯が増えて名目上は複数になった村があったのでしよう。一件落着し、改めて読み直しているうち「一村同様ニ親シミ」が気になり始めました。住民が主体的に地域の在り様を考えていたのを示すとともに、飾り気のない素直な文章が社会生活の本質を教えてください。成田空港拡張により多古町の人口が増えても、「一村同様ニ親シミ」で暮らしたいものですね。

俳句

文芸コーナー

※順不動 ※多古町俳句会では会員を募集しています。

- 水仙や女剣士の凛と立つ
手に取ればほんのりぬくし寒卵
波間より白き湯気立つ初景色
銀翼の上昇してゆく初景色
初景色ましろき里の日寂し
初景色テレビで楽しむ齢かな
亡き吾子に窓開けてやる朝の雪
コンソメの少し洋風雑煮かな
- 鈴木 裕
戸村 しげ子
高橋 宮乃
平山 眞理子
野老 恵子
内藤 誠
木内 慶子
萩原 晶子

短歌

※短歌の作成者名は雅号を使用しており実名と異なる場合があります。

- 誕生日のプレゼントなる靴履きて今朝の散歩の歩幅の広し
年賀状を配る少年の自転車はかるがる坂を上りゆきたり
施設にて友らの歌う声あふれ我が誕生日を祝ってくれぬ
風の日にハンドルぎゅつと握りつつ沈む間際の日輪を追ふ
寒の庭に地響きをたて倒れたる大楠は今日歴史を閉づる
洗濯物のしわ丁寧に伸ばしあたる九十余年の手の甲見詰む
相撲の夢に救ひ求めし若者を戦禍の地より迎へし人ら
- 鈴木 沙和子
渡部 健
浅野 婦久
小川 美智子
秋山 裕子
秋山 絢子
越川 節子